

鷹島石工業協同組合



本社・工場：〒 859-4302
 松浦市鷹島町阿翁免 474-1
 Tel 0955-48-2090
 代表者：代表理事 澤邊 数登
 組合員数：21人

450年の伝統と高度な技術！

鷹島は、今から約七百年前の元寇において、元軍と激戦を展開した古戦場であり、多くの戦死者の霊が眠っています。

元寇後、島の開発が進むにつれて出土した遺骨を祀るため、阿翁地区で産出される良質の玄武岩を素材として、数多くの墓石や石碑が建てられました。これが「阿翁石」として天下に名声を博した鷹島の石工業の起源といわれています。

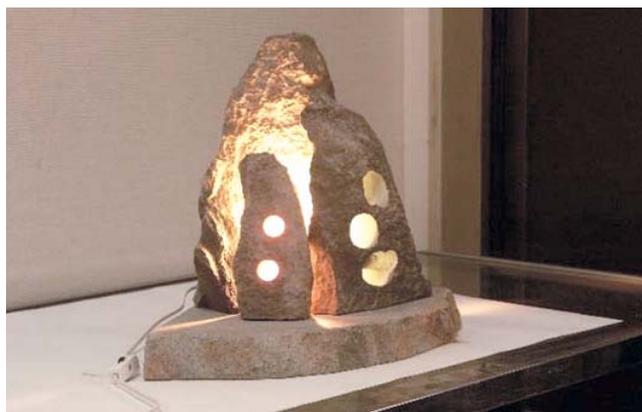
慶長14年(1609年)に福岡の筥崎八幡宮の大鳥居(国宝)が阿翁石により建立され、その後、平戸、伊万里、唐津各藩の「御用採石場」として栄えました。

これまでの墓石や石碑を中心としながらも「島あかり」などの新商品の開発も行っています。また、長崎県の新庁舎建設においては、新庁舎に隣接する防災緑地に阿翁石の表面に長崎のはた(凧)の模様を彫った石板が設置されることになりました。

450年の伝統を誇る鷹島の石工業は、その伝統を受け継ぎながら、さらに進化を続けています。



《鷹島モンゴル村のホークス優勝記念碑》



《夜を優しく照らす島あかり》

松高だより

■ オープンスクール2016

8月8日にオープンスクールを行いました。生徒会による学校紹介や、模擬授業、学校別座談会、部活動見学を行いました。松高ではオープンスクールも生徒が主役です。企画から、当日の準備・運営・撤去まで生徒会や部活動の生徒が行います。生徒たちが中学生を導き、松高をPRしました。



■ 夏季学習会・学習合宿

1・2年生は海のふるさと館と学校で3日間の夏季学習会を、3年生は7月31日から5泊6日で学習合宿を行いました。3年生はお互いの背中に励まされながら1日12時間の学習を行いました。

これから進路実現をめざした戦いがさらに本格化していきます。



